

授業科目名	専門外国語講読 I <i>English Reading for Nursing I</i>		担当教員	因 京子	
開講年次	1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	選択 (保健・看護コース 必修)	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	保健・看護領域および関連領域の外国語による入門的専門書の講読を行う。				
到達目標	1. 学術的論述の構造に関する知識を獲得する：個々の文、段落、文章を支える構造的原理についての知識を獲得し、予測しつつ読むことができるようになる 2. テキストで扱われた主題について自分の見解を発信できるようになる：母語も併用して概念を整理し、英語の構造に合わせて、一段落程度の文章を作成する 3. 自分の英語学習についてのメタ認知を形成する：既得の知識・技術と目標とする知識・技術を認識して、後者を獲得するための行程と方法を立案できるようになる				
授業計画	テキスト①は、因京子・力武由美・山路奈保子：国際医療人のコミュニケーション応用編、テキスト②は、Po.Bronson & Asheley Merryman, <i>NatureShock</i> (2009) である。テキスト①および参考文献④は、LL 教室において担当者から受け取ること。 1 回 教材導入部講読、学習方略内省、学習計画立案 2 回 テキスト① 第1部 1課 3 回 テキスト① 第1部 2課 4 回 テキスト① 第1部 3課 5 回 テキスト① 第2部 1課・2課・3課 6 回 テキスト②-1 7 回 テキスト②-2 8 回 試験、フィードバック (学習方略再点検)				
学習方法	(可能であれば) コースが始まるまでに、参考文献④の読解・作文・文章解析課題を終了しておくことが望ましい。 予習：テキストの当該部分中の未習単語の文脈における意味と発音を調べ、当該箇所を3回以上音読する。 テキストを読んでタスクを行う。 復習：テキストを1回音読する。音声化が困難な箇所や意味不明箇所があれば理解を完全にし、流暢に音読できるようになるまで、反復して音読する。				
オフィスアワー	水曜日 4 時限目 および アポイントメントによる (k-chinami@jrcikn.ac.jp)				
テキスト	① 因京子・力武由美・山路奈保子：国際医療人のコミュニケーション応用編 日本赤十字九州国際看護大学刊, 2013 (配布する) ② Po.Bronson & Asheley Merryman, <i>NatureShock.Twelve</i> , Hachette Book Group:NY, 2009. (一部分のコピーを配布する)				
参考文献	① 村岡貴子・因京子・仁科喜久子：論文作成のための文章力向上プログラム. 吹田, 大阪大学出版会, 2013. ② 二通信子・大島弥生・佐藤勢紀子・因京子・山本富美子：留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック. 東京, 東京大学出版会, 2009 ③ 松村瑞子・因京子・新島龍美他： <i>Issues in Bioethics</i> . (生命倫理の諸問題) 東京, 開文社, 2010 ④ 因京子・力武由美・徳永哲・村上淑：国際医療人のコミュニケーション基礎編. 日本赤十字九州国際看護大学刊, 2011 (配布する)				
評価方法	授業への積極的参加 (50%)、筆記試験 (50%)				